

令和 5 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 7			学校名		県立水戸飯富特別支援学校								学校長名		高星 寛咲			
副校長名	栗木 理伸					教頭名		中島 正憲					事務（室）長名		宮部 裕之				
教職員数	教 諭	9 7	養 護 教 諭	4	栄養 教諭	1	常 勤 講 師	6	非常勤 講 師	2	実 習 助 手	2	事務職員	3	技 術 職員等	1 4	計	1 3 3	
幼児・ 児童・ 生徒数	部		1 年（3 歳児）		2 年（4 歳児）		3 年（5 歳児）		4 年		5 年		6 年		合計		合計 クラス数		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	幼稚部																		
	小学部		1 2	5	1 3	4	1 1	8	1 2	1	2 2	2	2 0	3	9 0	2 3	2 2		
	中学部		2 8	5	1 3	9	1 8	9							4 9	2 3	1 6		
	高等部		2 6	7	1 6	1 1	1 2	6							5 4	2 4	1 3		
	専攻科																		
	計															1 9 3	7 0	5 1	

2 目指す学校像

- ◆ 朗らかで楽しい学校
- ◆ 穏やかで安心できる学校
- ◆ 和やかで信頼される学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	・ 児童生徒の社会参加を目指し、校外学習、職場見学、現場実習の場を多く設定している。 ・ キャリア教育や進路に関する情報をホームページやキャリア教育通信等で発信している。 ・ 校舎内外の整理・整頓・清掃を推進し、危険個所の発見と対応を行っている。 ・ 児童生徒に向けたシェイクアウト訓練や避難訓練等の防災訓練に加え、職員に対して、防災研修や引き渡し訓練等を実施し、防災に対する意識の向上を放図っている。	・ 特別活動を要としたキャリア・パスポートの活用と系統的なキャリア教育の推進。 ・ 社会自立を目指し地域や保護者と連携した教育課程の編成と改善。 ・ 安心して学習や生活ができる教育環境整備。 ・ ヒヤリハット事例の蓄積と共有、危機管理体制の充実のための各種マニュアルの見直しと改善。

学習指導	・学習指導要領の育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえた目標や内容の見直し、3観点による評価により継続的な指導の充実を図っている。 ・一人一人の障害特性に応じた指導を実践できるよう、専門家の意見を参考にしながら、授業改善を図っている。	・育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえた個別の指導計画の作成。 ・一人一人の障害特性に応じて、児童生徒が思考する活動の設定と学習の「まとめ」「振り返り」を大切にする授業実践。
------	---	--

4 中期的目標

1 人権を尊重し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた創意工夫ある教育の実現
2 安全・安心で信頼される教育環境と危機管理体制の整備
3 保護者や地域から信頼され、魅力ある開かれた学校づくりの実現

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
1 子どもの「探求心」を育む授業づくり	①育成を目指す資質能力（三つの柱）を踏まえた個別の指導計画の作成 ②展開において児童生徒が思考する活動の設定と学習の「まとめ」「振り返り」を大切にする授業 ③これまでの実践と ICT を組み合わせた効果的な授業 ④授業改善を進めるための校内体制の整備と研修会の実施
2 自立と社会参加に向けた教育活動の充実	①「キャリア・パスポート」の活用と系統的なキャリア教育の推進 ②社会自立を目指し地域や保護者と連携した教育課程の編成と改善 ③地域資源や地域の施設等を活用した職業体験学習、人や社会とつながる学習の実践と充実 ④一人一人の「働く」意欲を高める作業学習の実践
3 健康で安全・安心な学校づくり	①安心して学習や生活ができる教育環境の整備 ②ヒヤリハット事例の蓄積と共有、危機管理体制の充実のための各種マニュアルの見直しと改善 ③いじめ・不登校・虐待等への予防的取組と組織的対応の充実 ④専門家や保護者と連携した食育・健康教育の推進
4 地域連携とセンター的機能の充実	①内原特別支援学校との連携、学校間、学校と地域のつながり、互いの学び合いを大切にした交流及び共同学習の推進 ②電話相談及び来校相談、巡回相談の充実 ③保護者及び地域の関係機関との連携の強化 ④本校教育活動の積極的な発信